

今回は経産省生活製品課から紫畠田氏の参加を頂いた。車中では栗原(昭)副会長の挨拶に続き、矢代事務局長代行により見学時のグループ分けなど当日の行程や注意事項の説明があった。

途中羽生SAで休憩の後、予定の10時30分よりやや早めにアキレス第二工場に到着した。敷地の広さと環境の良さに驚かされた。

工場内の会議室で開発担当の大木部長様をはじめ、上村部長様、塚越副部長様、営業担当の長谷川様等によるご挨拶に続き会社の説明が行われた。シユーズ部門以外にプラスチック部門、産業資材部門に分かれ、建築関係の断熱材・内装

説明の後、2グループに分かれ見学した。第二工場は、バレーチューズ・長靴などの生産工程を見学した。材料の塩化ビニールは自分たちで配合した物を射出成型で生産している。会議室に戻り昼食をとり、バスで第二工場へ向かった。ここではアキレスソルボ（コンフォート・シューズ）の製造工程を見学。インジエクションマシン（靴のアッパーと底材を成型圧着し仕上げる）は、ドイツ製（工場稼働時から50年物）とイタリア製。

ウレタン製は加水分解が気になるが、現在「エーテルウレタン」を使用しているため心配はない。99.9%無くなつたそうだ。かなりの工程で機械化（ロボット化）されていったのだが、まだまだ人

今年の夏期学校は教育研修委員会の事業として、アキレス足利工場の見学を実施した。
8月3日(水)午前8時に、
参加者23名がマイクロバスに乗り
車し足利へ向かつた。

アキレス足利工場

工場見学実施

一般社団法人
東靴協会

(9月号)

の手による作業が必要で熟練者の重要さを感じた。

内シユーズ事業の占める売り上げは22%であるなど、まとめの話と質疑応答が行われ、有意義な工場見学は終了した。

A black and white photograph of a group of approximately 20 people, predominantly men wearing white shirts, gathered indoors. They are arranged in three rows: a back row standing, a middle row kneeling, and a front row sitting. The background features a wall covered with various Japanese signs and posters, including one that reads "Astro" and another with the number "3-34-1-7".

夏期 レクリエーション
日帰りバス旅行開催

毎年恒例の日帰りバス旅行
が今年は「房総半島・笠森観音
と鯛の浦・小湊温泉の旅」とし、
8月18日本曜日に43名が参加
して行われた。

台風が接近する中、海が荒れていたため次の目的地「鯛の浦」の遊覧船は欠航となり、近くの「誕生寺」を見学、日蓮上人が生まれたとあり立派なお寺だった。

前を参加者を乗せバスは出発し、首都高速からアクアラインを経由し房総へ、途中海ホタルで休憩を取り笠森観音へ、車中では朝食のおにぎりと飲み物が配られ朝早かつたため朝食をとっていない人も多く好評だった。

帰りも「海ほたる」で記念写真を撮り、休憩とショッピング。途中、事故渋滞に合い羽田空港で数人が下車し、バスはルートを変更したため、ほぼ定期的に神田に無事に到着した。

などの会席料理を堪能し、カラオケも始まり楽しい懇親会となつた。

その後、小湊温泉を満喫し、帰路に着いた。

途中「海産物まるたけ」で休憩とショッピング。家族や友達にか土産が両手に持ちきれないと方も…

レディスでは、今春夏、かなり苦戦を強いられた。それは前年までの商品との違いが分からず、お客様が「欲しい」と思えるモノがなかったことが大きい。来春夏は商品だけでなく、お客様が「欲しい」と思う仕掛けを打つことが重要。商品構成、陳列、POP、接客などの総合力で、商品の魅力をより引き出す工夫をしよう。

新鮮さの打ち出しとしては、素材の変化、多様化が挙げられる。80年代ファッションが注目されているが、その表現として、ラメなどの光沢素材、スタッフ

◆レディスの傾向
来春夏にはまたカジュアルなヘアリーグされる。春夏は気分も明るくなり、カジュアルなスタイルが好まれる季節なのだ。しかし、昨年までのスポーティ、アメカジとは異なる。その変化を靴にも表現することで、消費者の購買意欲を掻き立てたいところだ。

今秋冬、エレガンスの方向に向かつたファッショング流れも、来春夏にはまたカジュアルの方へゆり戻される。春夏は気分も明るくなり、カジュアルなスタイルが好まれる季節なのだ。しかし、昨年までのスポーティ、アメカジとは異なる。その変化を靴にも表現することで、消費者の購買意欲を掻き立てたいところだ。

アジアリング(株)

2017年春夏の傾向



トラッド×スポーティ

来春夏は素材バリエーションが増加。スムース、エード、光沢系(メタリック、ラメなど)、爬虫類、レースなど。デザインはシンプル化が続いているので、新鮮さを感じさせる素材は必須だ。

登場。客層を考えつつ、効果的に使いたい。

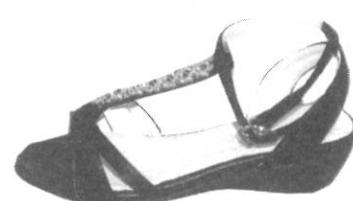
サンダル系は、拡大が見込まれる。また新たにブーサン(ブーツサンダル)、グラディエーターサンダル(足首丈のベルトで足を覆うサンダル)が復活。しかし大流行したボーン系(ストラップ)は、まだ印象が悪く、低価格イメージが付いているので、ストラップデザインは変えること。ティーンズからミセスまで、幅広く支持されるので、客層に合わせたデザイン、素材、ヒール複数の横ストラップを付けた形状)は、まだ印象が悪く、低価格イメージが付いているので、ストラップデザインは変えること。ティーンズからミセスまで、幅広く支持されるので、客層に合わせたデザイン、素材、ヒール複数の横ストラップを付けた形

状)は、まだ印象が悪く、低価格イメージが付いているので、ストラップデザインは変えること。ティーンズからミセスまで、幅広く支持されるので、客層に合わせたデザイン、素材、ヒール複数の横ストラップを付けた形状)は、まだ印象が悪く、低価格イメージが付いているので、ストラップデザインは変えること。ティーンズからミセスまで、幅広く支持されるので、客層に合わせたデザイン、素材、ヒール複数の横ストラップを付けた形

状)は、まだ印象が悪く、低価格イメージが付いているので、ストラップデザインは変えること。ティーンズからミセスまで、幅広く支持されるので、客層に合わせたデザイン、素材、ヒール複数の横ストラップを付けた形



新グラディエーターサンダル



低~中寸サンダル



ブーティサンダル

○エレガンス系

春夏は謝恩会、結婚式など

初夏にはサンダルが浮上。来年は細ストラップ、曲線ストラップなどを用い、女性らしさを強めたサンダルが注目。これまで直線、太ストラップの強いイメージだったので、変化が見られる。

夏のサンダルはストーム部も高いウエッジサンダルが主流だが、ベタ~低寸系を増やした

カッターは、ポイント(尖った)トウが定着し、主流になる。しかしラウンド(丸い)トウも入れ、バランスを取りたい。セパレーツ、変形トップライン(履き口)など、シンプルデザインの中で、シルエットを変化させよう。

カッターは、ポイント(尖つた)トウが定着し、主流になる。

始めている。靴下と合わせることで、寒いうちから履け、購買も高まった。これまでのサンダルも暑いから履くというのではなく、丸物感覚で履くことで、サンダル人気が高まつた。この流れは来年も続けたい。そこでカウンター(かかと部)が付いたサ

が、レース、素材コンビなどをプラスする。ラスト、ヒールのバリエーションも増やそう。細くて低いキトゥンヒールが期待される。丸物だけでなく、セパレーツ、

○カジュアル系

ここ数年、トラッド、スポーティが人気となつたが、これらは縮小定着。流行ではなく、定番

として残る。来年はスポーツ×

トロッドなど、ティストMIXした商材が注目。トラッドアッパーにスニーカー底を付けるなど、アレンジは増える。色もメタリックなどを入れ、イメージを

リックなどを入れ、イメージを

○ミセス

ミセスでも春の卒業式、入学式に参列されるお母様、お祖

母様用のパンプス提案が必須。どの年代かにより、提案商品を変えないといけない。30～40代はカラースーツに合わせる色、デザインが主流。50代以上はソフト感、定番色、安定感などが欲しい。年代に合った商品を揃えよう。

ミセスにもスポーツは定着。スリッポン、紐系など、白底タイプロードを提案する。定番カジュアルと共に展開したい。

サンダルはリラックス感のあるものが注目。きれいで仕上げ汎用性を高めたい。ブーティサンダルも引き続き人気だ。

メノヅの頃向

メンズはスニーカーに取られ、苦戦が続いている。そこで来春夏は、スニーカーに負けない商品構成が必須。現状の商品構成を見直し、穴になつているところをきちんと提案したい。



ミヤスブーティサンダル

ミドル世代（30～40代）は、ヤングと同じで、スポーティが拡大する。上質素材を使うなどし、価値観を上げたい。

アダルト世代（50代～）はイタリアンカジュアルを引きずる。メッシュ、クロコなどクセの強い素材使いがポイント。スリッポン系が主流だ。



メンズサンダル

○カジュアル

ヤングはスボーティが拡大。リップン系だけでなく、スニー カー同様にハイテク感のあるデザインも登場。スニーカーにはない遊びを取り入れる。

機能性の高い底材が増加しており、人気も高まっている。ゲリラ豪雨に対応できる防滑性、防水性などが注目。アツパーもあり、切り口が広がっている。

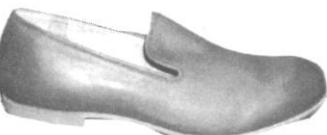
れる。流行として商品を見直し、展開時期もレディス同様、早めにする。デザインもレディスと同じで、靴下と合わせられると、鼻緒タイプは減らす。スポーティ、アウトドア系サンダルは期待できるので、スニーカー（アウトドア）売場だけでなく、カジュアル売場でも展開しよう。

○ドレス(ビジネス)

◆スニーカー＆キッズの傾向

スーカーは好調を継続しており、来春はまた人気が高まる。大手ブランドは一般小売店では扱えない物が多いので、店独自の商品構成を心掛け、お客様への啓蒙活動も同時に行う必要がある。

キッズは親子提案などを行い、価値観を上げることで、単



カジュアルパンプス

幅広い層に支持されている
カジュアルスニーカーは、国内ブ
ランドなどを掘り起こし、新た
な取り組みを図りたい。これま
での白、黒のモノトーンだけな
く、色味や柄をプラスするのが
来年の傾向だ。

これらはレディース、メンズ共に
同じ動きになる。また、ジエン
ダーレス(性差無し)化が進むの
で、ピンクなどのレディース色を



アウトドア系サンダル

女児ではストリートダンス需要もあるので、ボリューム感のあるコート系を欠かさないように注意。

性が広がる。
スリップポン、定番系スニーカーは、キッズでも継続。色、素材、柄などで新鮮さを出したい。

アウトドア系サンタルは、児、男児共に注目。ファミリー提案で展開することで、家族でお揃いにしていただける可能

レトイランニングはそろそろ落ち着き、多様化する。大手ブランドではハイテク系の進化版が注目されており、ハイテク底に定番アッパーの組み合わせが広がる。

○キッズ(子供靴)

ンズで、紺、カーキなどのメンズ色をレディスで展開することも重要だ。

カップルハイテク系

男児ではよりスピーツ感覚の強い商品を、従来のジュニアスポーツの中に入れ、レベルアップ。」

理事会・支部連絡会

だより

平成二十八年八月二十三日(火)
午後一時半、西村記念ホール

小堤会長の「台風が接近し、天候が心配されます。シンエイ

の再生も中国資本になるなど情報が入ってきました。秋物商戦が始まっていますが、頑張って行きましょう。」と挨拶。続いて、

司会の松戸副会長より、本日の出席者数が28名との報告の後、議事に入った。

一、ガンバの会からの提案について

木内理事より、国及び都からのキヤリアップ助成金(パート従業員に対する)など各種の補助金・助成金の制度があるので有効に利用してください。

又、前回報告の、防災用及び飲料水を定期的に配布する件は、会員に案内をして進めてゆくと報告した。

二、工場見学の結果報告の件

栗原(昭)副会長より、8月3日に23名が参加して行つたアキレス足利工場見学について報告があつた。(別項参照)

三、レクリエーションの結果報告
松戸副会長より8月18日に

行つた「房総半島・笠森観音参拝と鯛の浦・小湊温泉の旅」は43名が参加して無事に終了した。と報告。(別項参照)

四、「靴まつり」の実施、

ポスター他の配布について

矢代事務局長代行より9月1日からスタートする「靴まつり」は日本小売商連盟として行う。

者を500名に、ポスター他も増刷をして行う。と説明。

五、8月25日のシユーフィッタ

既得者勉強会について矢代事務局長代行より表記の勉強会は現在27名の参加申し込みがある。と報告。

六、シユーフィッタ養成講座の募集締め切りについて

矢代事務局長代理より、10月26日~28日の開催されるFHA表記講座を東靴協会様での申し込み締め切りは9月20となる。希望者は事務局迄。と説明。

七、その他

栗原(茂)副会長より、外国資本の店舗が撤退し、百貨店の売り上げも芳しくないなど厳しい景況が続いています。今後とも注意して行く必要がある。その後、今後の各委員会などのスケジュールの確認を行つた。

業界情報

バレリアンシューズ株

破産手続き開始

（株）シンエイに連鎖する

バレリアンシューズ株（設立昭和42年5月、資本金4875

万円、遠藤三郎社長）は8月9日、事業を停止し破産手続

きの準備に入つた。

負債総額は9億6893万

円（平成27年12月時点）。

「クリスチャン・ペリー」や「ガ

ンター」などの欧洲ブランド靴

の製造や販売を手掛けてい

た。秋田県所在の関連会社に

製造を委託し、最終工程をバ

レリアンが担当、卸売業者や

メーカーを販路とするほか、東

京都所在の関連会社を経由

して小売店向けも扱い、平成

8年12月期は売上高45億17

00万円をあげていた。

しかし、市場の縮小や安価製

品との競争激化から減収傾向

で推移し、23年12月期の売上

高は10億円を下回つていた。以

降も、百貨店向けの不振が続

き、27年12月期の売上高は6

37万円の当期純損失を計

算され、資金繰りも悪化していた。

このようなか、28年7月28

日に売上高の約6割を占めていた

いた（株）シンエイが東京地裁に民事再生法を申請したこと、同社からの売掛金回収の目途

が立たなくなつたことも要因となり、今回の措置となつた。

シンエイはラオックスが譲受け、

景況についてのアンケート結果 (対象月…28年8月)

▶ 全体的な業況	
良 い	0.0%
悪 い	88.9%
変わらず	11.1%
▶ 売上げ	
前月比 増えた	0.0%
減った	88.8%
同じ	11.1%
前年同月比 増えた	11.1%
減った	55.6%
同じ	33.3%
▶ 販売価格は前月比	
騰貴した	0.0%
下落した	22.2%
同じ	77.8%
▶ 販売経費は前月比	
増えた	0.0%
減った	22.2%
同じ	77.8%

東京都中小企業景況調査 {7月}

業況：弱含みで推移
見通し：3か月ぶりに上向く

卸売業			業況			
対象数	回答数	回答率	7月		今後3か月間見通し (当月比)	
			-100	0	100	-100 0 100
875	374	42.7%				
1. 男 子 服						
2. 婦 人 子 供 服						
3. 靴・履物						
4. かばん・袋物						
5. 装身具・身の回り品						

小売業			業況			
対象数	回答数	回答率	7月		今後3か月間見通し (当月比)	
			-100	0	100	-100 0 100
875	295	33.7%				
1. 各種・服地・寝具						
2. 男 子 服						
3. 婦 人 服						
4. 子 供 服						
5. 靴・履物						
6. かばん・袋物						
7. 雑貨・身の回り品						
8. 時計・眼鏡						
9. ジュエリー製品						

民事再生手続き中の株シンエイの婦人靴企画・卸売販売事業を株ラオックスの子会社モード・エ・ジャコモが譲受け、

ラオックス株式会社の親会社は中国江蘇省の大手電機小売業でこの傘下に入ることになり、アカクラに統一して中国企業資本の会社になる。